

西川区長が所信を表明

地域と区民が輝く予算

西川区長は、2月15日、平成27年度荒川区議会定例会・2月会議の冒頭で、今後の区政運営の方向と平成28年度予算の編成方針・主要施策について、所信を述べました。

問合せ 総務企画課 ☎内線2111

区政におけるマーケティングとイノベーション

私が区長の重責を担わせていただいてから、12回目の新年度予算案を区議会に提出することとなりました。

この間を振り返ると、日本経済の長期的な低迷の中で、273万人の方が正規で働く場を得られずにいること、世代間や地域間での格差が拡大していること、東日本大震災をはじめとする多くの自然災害が発生したこと等、区民生活に影響を与えるさまざまな出来事がありました。

そうした中で、11年余りの間に1100を超える新規・充実事業を実施し、区内・外に積極的に問題提起を行ってきました。

代表的な取り組みの1つが「荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピーネス）」の研究と区政への活用です。国内・外から大きな注目を集め、住民の幸福実感向上を基軸として行政運営を行うという志を持った自治体が集う「幸せリーグ」の参加団体数は、100に迫るところまできています。さらに、子どもの貧困・社会排除問題への対応や、区立小・中学校全校へのタブレットパソコンの導入、首都直下地震に備えた永久水利施設の整備等、革新的・先進的な施策を実践してきました。

また、急増する保育所待機児童の解消を目指し、2000人を超える保育定員の拡大を図るとともに、高齢化社会の進展に対応して、区内における特別養護老人ホームのベッド数を240床増やしたほか、障がい者の「親なき後」の不安解消を図るため、グループホームの整備等を推進してきました。

マネジメント研究の第一人者であり、政治、経済、経営等さまざまな分野に多大な影響を与えたピーター・ドラッカーに、「ビジネスには2つの機能しかない。マーケティングとイノベーションである」という言葉があります。区役所で言えば、「今までの施策をさらに充実・深化させる」ことと、「新たな効果的施策を創造・開発する」ことになると思います。

区役所は、区民の皆様からいただく信頼を基本として、区民にとって相談等がしやすく、区民が真に求めるサービスを提供する存在でなければなりません。そのためには、「マーケティング」つまり区民のニーズを分析・解明し、「イノベーション」すなわち新たな切り口や創意工夫等により、区民が求める施策を創り続けていくことが不可欠です。



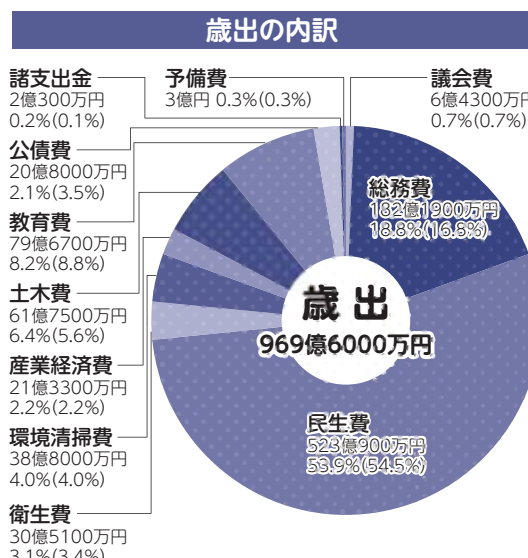
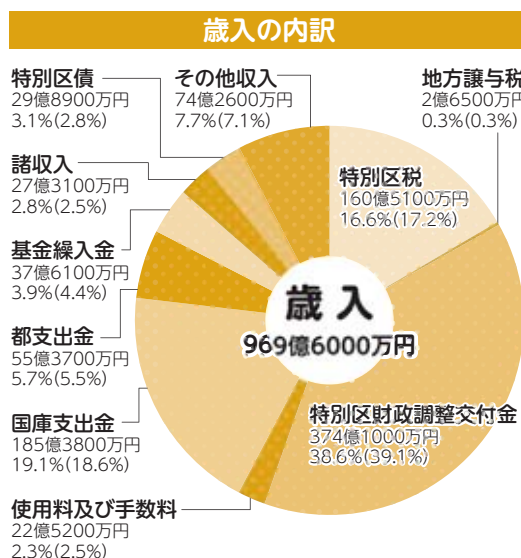
こうした認識のもと、区のドメイン、区役所の事業領域を「区政は区民を幸せにするシステムである」と定め、区民の幸せを第一に考えた区政運営を実践してきました。今後も、より一層区民の幸福実感を高めていけるよう、今まで以上に区政におけるマーケティングとイノベーションの推進を図っていきます。

平成28年度予算案

平成28年度予算案は、一般会計予算が970億円であり、荒川二丁目複合施設（愛称名：ゆいの森あらかわ）の整備費や私立保育園運営費等の増を主な要因として、平成27年度と比べ57

億円、6.2%増の、過去最大規模の予算となっています。この予算は「**地域と区民が輝く予算**」として編成しました。

問合せ 財政課 ☎内線2121



各会計の平成28年度予算額	
一 般 会 計	969億6000万円
国民健康保険事業特別会計	294億2500万円
後期高齢者医療特別会計	45億1800万円
介護保険事業特別会計	164億8500万円
計	1473億8800万円

区の予算の使いみち

平成28年度の区の一般会計予算の総額を1000円とみなして、分野別に使う金額を示したものです。

民生費	539円	高齢者・障がい者等の福祉や子育て支援のために
総務費	188円	安全・安心や区民施設の運営、文化振興等のために
教育費	82円	学校や幼稚園の運営等のために
土木費	64円	公園や道路の整備、再開発等の街づくりのために
環境清掃費	40円	清掃や環境保護、リサイクル事業等のために
衛生費	31円	区民の皆さんの健康を守ること等のために
産業経済費	22円	産業や観光の振興、就労支援等のために
議会費	7円	議会の運営等のために
その他	27円	区債や基金の管理等のために

※（ ）内は平成27年度当初予算の構成割合

2面へ続<

～区政は区民を幸せにするシステム～